

閉会の挨拶

アジア産業研究センター研究員 専修大学大学院商学研究科長・教授

上田 和勇

専修大学アジア産業研究センター主催による本日のシンポジウムの後援機関の1つが大学院の商学研究科であり、もう1つが商学研究所です。最後に一言、大学院商学研究科を代表いたしまして御挨拶申し上げます。

まずご報告いただいた4人の先生方にお礼を申し上げたいと思います。中国の陳先生、虞先生ありがとうございました。そして、ベトナムからのフン先生、カンボジアからのペンホイ先生には日本語でご報告いただき感謝申し上げます。

このアジア消費市場の変化の問題は、我々も非常に興味・関心を持っているテーマです。今日、お越しいただいた皆さんもそうだと思います。アジア消費市場の変化について、日本としても勉強になることもありますし、逆に関心がある故に心配をして質問をされる方もいたように思います。

参加者は必ずしも多いとはいえませんでした。フロアから活発な質問をいただいたと思います。その質問に対し、この4人の先生方から大変、丁寧に回答していただきました。質問者への誠実な対応、まじめな取組をしていただいたことに対しても感謝を申し上げたいと思います。また、本日の開催までにお手伝いいただいたアジア産業研究センターの皆様、司会者、アジア産業研究センター代表の小林先生にもお礼を申し上げたいと思います。

小林先生を代表とする、このプロジェクトは今年が1年目で、あと4年続いていきます。皆様には、ぜひ、この専修大学のプロジェクト「アジア産業研究センター」への応援をお願いしたいと思います。商学研究所、そして大学院の商学研究科もバックアップさせていただきますが、今後とも、参加の皆さま方にも我々のプロジェクトへの一層の御協力をお願いしたいと思います。

最後に、本日の報告者であるベトナムダナン経済大学の専任講師であるフン先生、名古屋大学の特任准教授であり、カンボジアのサテライトキャンパス長であるペンホイ先生、そして中国から来日されました首都経済貿易大学の主任教授である陳先生、貝因美副総裁の虞様の今後の活躍をお祈りし、御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。